

学生番号() 氏名()

このページ(全1ページ)を印刷して, 提出すること.

問1 ① 帰無仮説

対立仮説

② 標本数 単位
標本平均 cm
標準偏差 cm

③ A p-値の計算の時に代入する平均, 標準偏差はできるだけ四捨五入をしないものを入れること
B
C

問2 ① 帰無仮説

対立仮説

② A池の魚		B池の魚	
標本数	<input type="text" value="100"/> 単位	標本数	<input type="text" value="100"/> 単位
標本平均	<input type="text" value="4.93"/> kg	標本平均	<input type="text" value="5.06"/> kg
標準偏差	<input type="text" value="0.49"/> kg	標準偏差	<input type="text" value="0.42"/> kg

③ A
B
C
D
E

標本数, 標本平均, 標本標準偏差, 帰無仮説で取り上げた母平均を入力すると信頼区間を計算するように以下のシートは作った
適当なセルへコピーして使用してください.

1. ある決まった平均に対する検定

標本数 100
標本平均 39.54
標本標準偏差 13.45657
母平均 42

有意確率 α 0.067534

2. 2つの独立した母集団から得た2つの標本平均についての検定

標本平均 μ_1 4.925
標準偏差 σ_1 0.493146
標本数A 100
標本平均 μ_2 5.0576
標準偏差 σ_2 0.423058
標本数B 100

有意確率 α 0.041271